

平成28年度第4回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

1 日 時 平成29年3月17日（金）10時00分～12時00分

2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 市原委員、大嶋委員、尾崎委員、尾出委員、菊次委員、工藤委員、佐々木委員、田中委員、津田委員、角田委員、鶴岡委員、縫部委員、松野委員、真鍋委員、山谷委員、山内委員、武代理、飯原代理、飯塚代理

(2) 事務局 石原保健福祉センター所長、金澤社協区事務所長、三浦地域づくり支援室長、正司高齢障害支援課長補佐、田中高齢障害支援課主査、黒木地域福祉課主査、鈴木社協区事務所主査補、丹下高齢障害支援課主任主事、仁保地域福祉課主事

4 議題

- (1) 第4期支え合いのまち千葉推進計画について
- (2) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画について
- (3) 平成28年度の活動報告について

5 報告事項

- (1) 若葉区実施状況調査票について
- (2) 若葉区重点取組項目推進状況（平成28年度）について

6 議事の概要

- (1) 第4期支え合いのまち千葉推進計画について
第4期支え合いのまち千葉推進計画について、地域福祉課 黒木主査より説明した。
- (2) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画について
第4期若葉区支え合いのまち推進計画について、田中主査より説明した。
- (3) 平成28年度の活動報告について
平成28年度の活動報告について、各地区部会エリア委員より説明した。
- (4) 若葉区実施状況調査票報告について
若葉区実施状況調査票報告について、鈴木社協区事務所主査補より説明した。
- (5) 若葉区重点取組項目推進状況報告（平成28年度）について
若葉区重点取組項目推進状況報告（平成28年度）について、田中主査より説明した。

7 会議経過

- (1) 開会（事務局）
- (2) 開会挨拶（津田委員長）
- (3) 議事

○委員長

それでは、議題（1）第4期支え合いのまち千葉推進計画について、地域福祉課 黒木主査から説明をお願いしたい。

○黒木主査

第3回若葉区支え合いのまち推進協議会で、石原センター所長より第4期千葉市地域福祉計画（案）について説明があったが、平成29年2月17日に正式決定したので変更点について説明する。

策定方針の中で、近年の法令・制度等の流れの対応として、社会福祉協議会地区部会と町内自治会とのさらなる連携、コミュニティソーシャルワーカーなどの専門職の活用を含む地域福祉の担い手の確保が必要というのが追加された。また、計画期間が前回の説明段階では、平成30年～33年度の4年間であったが、千葉市新基本計画（第3次実施計画）の期間などとの整合性を図り、平成30年～32年度の3年間となった。

スケジュールとしては、平成29年2～3月に計画の策定作業を開始、3～6月計画素案の作成、9月までに各区計画案の原案を決めて頂く。10月には市民説明会、30年3月に第4期千葉市地域福祉計画策定となる。

計画全体として、地域住民や団体等に計画をより一層浸透・定着させるため、第3期計画の体系を踏襲し継続性を確保する。

○委員長

ただいまの説明に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

（特になし）

○委員長

次に議題（2）第4期若葉区支え合いのまち推進計画について、事務局から説明をお願いしたい。

○田中主査

区策定方針として、第4期の全体計画では、地域住民や団体等に計画をより浸透・定着させるため、第3期計画の体系を踏襲し継続性を確保するとしているため、区計画においても第3期計画を踏襲する。

重点取組項目を含む全ての取組項目について、社会福祉協議会地区部会エリアごとに実施状況を把握し、計画に反映させていく。

重点取組項目は、「地域の生活課題やニーズを踏まえ、重要度や優先度が高い取組みを設定する」という従来からの考え方を基本とし、計画期間中に目標・推進状況を把握して、区支え合いのまち推進協議会や千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会に報告する必要性が高い項目とする。

スケジュールとしては、平成29年3月～5月に計画素案の作成、重点取組項目の見直し、選定実施、6月の区推進協議会にて区計画素案承認。9月の区支え合いのまち推進協議会にて計画原案承認、10月に市民説明会、12月パブリックコメント手続き、平成30年3月第4期千葉市地域福祉計画策定となる。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

(特になし)

○委員長

次に議題（3）平成28年度の活動報告について、各地区部会エリア委員より活動報告をお願いしたい。

○坂月地区部会エリア

坂月地区部会エリアの地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動として、ラジオ体操の実施会場を増やす取組では、従来実施の坂月台ラジオ体操（会場：坂月小学校）に加え、小倉町ラジオ体操（会場：小倉会館）が1か所増え、合計2か所となった。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、「歩こう会」を2回、「グランドゴルフ大会」を1回実施した。

防犯活動の取組では、セーフティウォッチャーが高齢のため、1人減となつたが、社会福祉協議会の紹介により近隣の方が2人増えた。

○貝塚地区部会エリア

貝塚地区部会エリアの地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動の取組では、小学生の登下校の見守りを昨年度同様行ったが、人員増・見守り場所の増加は出来なかつた。協力者を増やす為には、小学校とも相談してPTAやその同居、高齢者で元気な方を集める方法を検討したい。

福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動では、10年続けている芋煮会・健康セミナーの充実を図るため、ジャズ演奏会を加えた。また、敬老会を実施する自治会を増やした。他には、小学生と高齢者が一緒に楽しむ流しソーメン会を行つた。

防犯活動の取組として、防犯パトロールの回数を増やす必要は感じているが、協力者の増員がより必要であると考えた。

○金澤社協区事務所長

桜木地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、ふれあい子育てサロンへの参加者を増やすため、年度初めに各自治会へチラシを回覧。若葉区CBTや子育てフェスタ等のイベントにて、子育てサロンのチラシを配布した。

今後更なる推進のため、親子で簡単に体を動かせるような、レクリエーション等の技能を学べる研修の機会があればよいと考えた。

福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の取組では、今年度も75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、ふれあい食事会を開催した。また、貝塚中学校との交流事業として、吹奏楽部生徒の音楽鑑賞を行つた。他には、ふれあい食事会の中で、講演会（成年後見制度の説明）を実施した。

○小倉台地区部会エリア

小倉台地区部会エリアの気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、運営委員会の企画会議を年1回開催、その他毎月サロン開催後に反省会及び翌月の内容などを話しあつた。他、小学生の交流会3回「横綱の健康管理について」のテーマで講演会を開催し、参加者74人と前回からの参加者増につながつた。

地域での福祉教室等の開催と活動支援の取組では、男性が地域の人々とふれあう機会を増やすため「男性料理教室」を7月実施したところ、参加者から年2回は開催してほしいとの要望があり、12月に2回目を開催した。

○白井地区部会エリア

白井地区部会エリアの活動の中核となれる人材の発掘の取組では、現在の福祉活動推進員6人から7人になった。

防災・減災活動の実施の取組では、18自治会のうち自主防災組織が組織化されているのは、8自治会と半数未満であるため、各自治会が自主防災組織を立ち上げることを目標にして、3年後には11自治会に増やす目標のもと、9自治会となった。

災害時に避難できる体制づくりの取組では、白井小学校（公民館）、白井中学校、泉高校の3か所で、避難所運営委員会が立ち上がり、17連携（白井中学校区）地区の全ての自治会を網羅した委員会が設置された。

福祉のこころを育む活動の取組では、高齢者と小・中学生との異世代交流として、子育てサロンを4回実施出来たのは、民生委員・児童委員、児童母子福祉委員の協力体制と白井地区部会だよりの地域情報・千葉市社会福祉協議会関係者の支援があったためである。

○金澤社協区事務所長

更科地区部会エリアの福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の取組では、毎年12月に親子凧揚げ大会を実施。当初は参加見込みを200人と思っていたが、結果は300人を超える多くの参加となった。

気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、御殿町において初めて、ふれあい・いきいきサロンが実施された。自治会館への送迎も実施した。課題としては、参加者の中から活動の担い手を増やしたい。

○御成台、千城台西・北地区部会エリア

御成台、千城台西・北地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、6月に第2回若葉区子育て団体交流会に参加。これをきっかけとして当地区で子育て活動を行っている団体（プレシャスタイム千城台）との情報交換を行った。同団体は当地区部会の協力を求めており、連携することで活動がより活発化することを確認し、当地区部会が応援する形で9月から原則毎月1回開催することとなった。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、各自治会が健康促進のため事業化へ向けたサポートをするため、健康長寿の啓もう活動「社協だより」を活用し、介護予防を主題に連載。

各自治会協力で、健康づくりイベント・勉強会を随時実施した。

支えあう仕組みをつくる取組では、千城台東南・金親地区部会と共同で、11月に「医師による講演会」、1月「ボッチャによる健康づくり」、3月「健康づくり勉強会」を開催した。

○千城台東南・金親地区部会エリア

千城台東南・金親地区部会エリアの気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、3か所で月1回サロンを開催しており、参加人数を増やす活動を実施。民生委員・児童委員の5月の高齢者実態調査時に「ふれあいいきいきサロン」お誘いのチラシの手渡し、声かけにより、昨年度より参加者が増えた。

活動団体同士の連携・交流の取組では、地域ケア会議を隣接する御成台、千城台西・北地区部会と合同で年1回開催し、当地区エリアにおいても年1回開催する目標のもと、医師の講演会を実施。

災害時に避難できる体制づくりの取組では、旭小学校避難所運営委員会に参加し、地区部会として協力を深めた。運営委員だけで11月に避難所鍵の開閉訓練、設備の確認及び備蓄資機材他の点検等を実施した。

○ 2 6 地区部会エリア

2 6 地区部会エリアの公園やサークル活動を利用した交流機会の創出の取組では、ローズタウンパトール隊が、パトロール前にラジオ体操を始めたことやローズタウン有志により公園に集まるチームが増えた。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、ラジオ体操を始め、歩こう会、ボッチャ、グランドゴルフなど人を集める活動を実施。昨年末には地域の困りごとに関するアンケートを実施した結果 51.3%の回答があった。多かった回答は、買い物支援、ゴミだし支援、庭木の手入れ、病院の付添い、電球取り替えなど身近なものも多かった。

防犯活動の実施の取組では、防災活動の内容の違いはあるが、全 8 自治会が実施した。

○ 若松地区部会エリア

若松地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、昨年同様、若松町北部自治会集会所での「ふれあい子育てサロン」に常時 5~6 組の参加者がいた。偶数月の開催でなく毎月開いてほしいという要望もあった。若松台 3 丁目自治会での子育てサロンは、参加者が限られてしまい小さい子供の減少が考えられた。

気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、ふれあい・いきいきサロンを 4 か所で開催出来た。

活動団体同士の連携・交流の取組では、地区部会の会員が地域ケア会議の組織を把握することが出来た。

○ 加曾利地区部会エリア

加曾利地区部会エリアの活動の中核となる人材の発掘の取組では、加曾利助け合いの会、有償ボランティア活動、ボランティア募集ポスターの掲示板への掲示、社協スタッフの募集など、具体的な取組に参加するメンバーを発掘した。また、具体的活動の展開をしていくため役割分担を持たせた。

活動団体同志の連携・交流の取組では、千葉市における介護予防・日常生活支援総合事業への移行で地区部会エリアとして介護保険の制度外の地域ケアを今後どのように進めたら良いかなど、地域ケア会議を実施した。

○ 都賀地区部会エリア

都賀地区部会エリアの活動団体同士の連携・交流の取組では、社協地区部会、高齢障害支援課、あんしんケアセンター（桜木・みつわ台）、福祉関係施設 9 か所、生活支援コーディネーター、地区部会理事、自治会傍聴者など約 45 人を迎えて地域ケア会議を開催。テーマは「あんしんケアセンターの役割との連携について」「地域の高齢者支援は民生委員だけで背負いきれるか」「あんしんケアセンターの総合相談から見える地域の課題」「顔の見える支援ネット“ご近所福祉”について」など、有意義な会議であった。

○ 結・みつわ台地区部会エリア

結・みつわ台地区部会エリアの福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の取組では、公民館で「福祉のつどい」を年 1 回開催。今年度は、日本赤十字社千葉県支部の協力を得て救急蘇生法（人工呼吸）の実体験訓練と、AED（体外式除細動機）を実施に操作し学ぶ体験学習を実施した。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、点検パトロール「ふれあい・散歩パトクラブ」を維持していたが、参加者数がもともと少なかったことに加え、参加者本人の高齢化と体

調不良で欠席がち、配偶者の介護が必要になり、欠席が常態化してきた等の理由により維持が困難となり止む無く一時休止とした。

活動団体同士の連携・交流の取組では、3回（3か所＝計15町内会・自治会対象）開催することが出来た。

○金澤社協区事務所長

千城小地区部会エリアの気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、いきいきサロンの実施として、ほぼ月1回の定期実施自治会が2か所から3か所からとなった。また、会員制としてサークル的活動を実施している自治会に、いきいきサロンとして位置づけるべく働きかけをした。

防犯活動の取組では、計画に基づいて防犯パトロール等の活動を試行し5自治会において計500回実施出来た。

○委員長

各地区部会エリアからの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

社協地区部会には資金がなく、自治会には資金がある程度ある。老人会でのサロン活動、子ども会でのお楽しみ会を実施しており、社協活動で別の活動をやろうとすると、負担がかかってしまう。どのように連携しているのか。また、避難所運営委員会などをつくっているが、どのような場所で行い、運営する人はどのようにしているのか。

○委員長

ただいまの質問に対し、避難所運営委員会がある委員から発言をお願いしたい。

○委員

避難所運営委員会は地区部会として3か所あるが発足のみでありまだ活動はしていない。自治会数でいうと18自治会中、6自治会ごとにまとまり、現役の自治会長が長として運営している。また、各自治会から1人が参加して組織を運営している。

○委員長

次に、連携について連携事例がある委員から発言をお願いしたい。

○委員

地区部会活動ではお金もなく、お茶くらいしか出せていないのが現状である。結・みつわ台地区部会では地域ケア会議を4回実施した。主旨としては地域の住民に目覚めてもらいたい、地域住民に訴えたい、自治会、町内自治会、地域の人にも知ってもらいたいというものである。

地区部会でサロンも実施しているが、私の考えでは現在、実施しているサロンが自主運営し、独立してもらう。自治会ごとそれぞれ特徴があつてよいと考える。社協地区部会としては、地域の人が、実行しなくてはと思ってもらう気づきの機会を与えるのが役目であると考える。

○委員長

地区部会は自治会へ啓蒙する役目であり、取組んでいく内に明確になっていくことだと思う。社協と自治会はやることは違ってくる。

老人会でサロンを取組、社協地区部会へ取組情報を報告する。社協地区部会と自治会が連携してもらえばと考える。

○委員長

それでは、報告事項（1）若葉区実施状況調査票について事務局から説明お願ひしたい。

○事務局

若葉区実施状況調査票については、地域福祉課から各区への調査依頼である。主旨としては、第4期地域福祉計画の策定にあたり、改めて地域でどのような取組が実施されているか把握するために調査した。内容としては、現在の具体的取組、実施概要と実施状況、今後の取組がどのようなものかをまとめた。

また、地区部会エリアにおいては聞き取りをして資料に反映している。

なお、資料は地域福祉課へ提出する。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

（特になし）

○委員長

それでは、報告事項（2）若葉区重点取組項目推進状況（平成28年度）について事務局から説明お願ひしたい。

○事務局

若葉区重点取組項目推進状況（平成28年度）についても、地域福祉課から各区への調査依頼である。

各地区部会エリアから提出された、第3期若葉区支え合いのまち推進計画重点取組項目の進捗状況記録票をもとに、平成27年度～28年度の進捗から達成状況をまとめた。

なお、資料は地域福課へ提出し、千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会で報告される。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

（特になし）

○委員長

他になければ、本日の議題はこれで終了する。

○事務局

本日の会議の議事要旨は約1か月後、市のホームページに掲載を予定している。

次回の開催日程は、6月の後半頃を予定。日程が決まったら、委員の皆様には改めて案内する。

以上で、第4回若葉区支え合いのまち推進協議会を終了する。